

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)	授業科目	総合英語 Ⅲ B (Intermediate)
科目基礎情報					
科目番号	0170	科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	一般科目	対象学年	3		
開設期	後期	週時間数	2		
教科書/教材	教科書: Quest 2 長文+文法・語法+リスニング (エスト出版)、be New Edition English Grammar 46 (いっずな書店)、Data Base 3000 (桐原書店)				
担当教員	荒川 吉孝,山根 秀介				
到達目標					
<p>1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。</p> <p>2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。</p> <p>3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p>					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、ある程度音読あるいは発話ができる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得してある程度運用できる。	聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できない。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を運用できない。		
評価項目2	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得してある程度運用できる。	中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を運用できない。		
評価項目3	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得してある程度運用できる。	中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を運用できない。		
評価項目4	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語である程度話すことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができない。		
評価項目5	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるようにある程度音読ができる。	説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができない。		
評価項目6	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報がある程度読み取ることができる。	平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができない。		
評価項目7	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語である程度書くことができる。	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができない。		
評価項目8	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意してある程度書くことができる。	関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (E)					
教育方法等					
概要	総合教材を使用し、読解、文法、語彙、聴き取りを織り交ぜながら、「読む」「書く」「聴く」「話す」という英語の4技能を基礎から段階的に学習する。併せて、ワークブックにより英文法の演習を行う。				
授業の進め方・方法	本文の内容について簡単な情報交換をする。 新出単語、語句についての発音と意味を確認する。 本文の内容理解、設問に答える。 音声を聞き、音読練習をする。 文法事項を確認し、練習問題に取り組む。				
注意点	<p>【成績の評価方法・評価基準】 定期試験を70%、小テスト・課題・発表・演習を30%として評価する。上述の到達目標に基づき、授業に対する積極的な取り組みと授業内容の理解を評価基準とする。</p> <p>【備考】 授業には必ず、辞書 (英和) を持ってくる。積極的に授業参加すること。予習・復習は必須。 【教員の連絡先】 担当者: 山根秀介 / 荒川吉孝 研究室: B-305 / A-301 内線電話: 8902 / 8906 E-mail: s.yamane / arakawa それぞれに@maizuru-ct.ac.jpをつける</p>				

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	シラバスの説明・導入 長文読解演習1	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話ができる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
		2週	長文読解演習2	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話ができる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
		3週	長文読解演習3	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話ができる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。

	4週	長文読解演習4	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	5週	長文読解演習5	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	6週	長文読解演習6	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	7週	長文読解演習7	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	8週	後期中間試験	

4thQ	9週	試験返却・到達度確認 長文読解演習8	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	10週	長文読解演習9	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	11週	長文読解演習10	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。
	12週	長文読解演習11	<ol style="list-style-type: none"> 1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。 3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。 5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。 6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。 7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。 8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。

		13週	長文読解演習12	<p>1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。</p> <p>2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。</p> <p>3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p>
		14週	長文読解演習13	<p>1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。</p> <p>2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。</p> <p>3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p>
		15週	長文読解演習14	<p>1 聞き手に伝わるように、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。</p> <p>2 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切に運用できる。</p> <p>3 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。</p> <p>4 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。</p> <p>5 説明や物語などの文章を毎分100語程度の速読で聞き手に伝わるように音読ができる。</p> <p>6 平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。</p> <p>7 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。</p> <p>8 関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。</p>
		16週	後期期末試験 / 試験返却, 到達度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ その他 合計
総合評価割合	70	0	0	0	30 0 100
基礎的能力	70	0	0	0	30 0 100
専門的能力	0	0	0	0	0 0 0
分野横断的能力	0	0	0	0	0 0 0